



photo : Ai Hirano

# Tachibana Being vol.77

WebTB

WebTBIはさらに充実

<http://www.tachibana-u.ac.jp/webtb> October 2014

- 特集 **たちばなのチカラ**
- 02 LOVEキャンパスライフ
  - 04 新しい経営学科が誕生します!!
  - 05 研究室探訪
  - 06 ニュース&トピックス
  - 08 DO YOU KNOW CLUB & CIRCLE ?
  - 10 たちばな's KITCHEN

## サークル活動



宮城県や福島県などの  
仮設住宅を訪問

京都学生祭典実行委員会  
おどり普及部 外部戦略部門 統括  
菅生 大夢 さん  
人間発達学部児童教育学科3回生

## ボランティア活動



京都橋大学心理臨床センター主催  
「パパとママのこころ育て広場」の  
ボランティアに参加

堀 唯奈 さん  
健康科学部心理学科3回生

京都橋の京災そでふれ!部 Tacchiは、京都学生祭典に所属しています。2014年5月3日(土)～5日(月)、京都学生祭典実行委員会が企画する東北を元気にするプロジェクト「繋ぐ～KYOUTOHOKU～」が、昨年に続いて実施されました。このプロジェクトには、京都の14大学の学生53名、京都橋から5名が参加し、福島県・宮城県の6か所の仮設住宅などを訪問しました。

私は実行委員をしていたこともあり、プロジェクトの企画担当を任せられました。参加者全員が心構えを持って臨むように、被災地の状況を知るための事前勉強会を開いたり、被災者の方との接し方などについて考える研修も行いました。

現地では、演舞を披露した後、一緒に踊ったり、話をしたり、写真入りの自己紹介カードを渡すなど、私たちにしかできない交流の場を持つようにしました。多くの方に歓迎してもらえて、とてもうれしかったです。私たちは実際に自分たちの目で見たことや、耳で聞いたことを受け止めて、今の状況を伝えていかなければいけないと思いました。今後も活動を続けていきたいと思っています。



京都学生祭典とは  
産(産業界)・学(大学)・公(京都府・京都市)・地域からの支援・連携によって京都府にある大学から集った学生が中心となり、つくりあげる祭のこと。



ボランティアに参加しようと思ったのは、子どもが好きだからです。幼児教育にも興味があったので、子どもたちと接しながら、心理学の勉強もできるいい機会だと思いました。この企画に参加された保護者の方が子育ての相談を臨床心理士の先生にしている間に、私たちは子どもたちの遊び相手をしています。自分が担当する子どもが自由に楽しく、安全に遊べるようにしっかり目を配りながら、声をかけたりしています。保育士の方のサポートもあるので、安心して子どもたちと接することができます。

遊びを通して子どもの心を知るため、行動や表情をちゃんと見るようにしています。企画終了後には報告会があり、子どもがとった行動から、どういう感情が読み取れたのかなどについて話し、みんなで考察しています。これまで何度か参加するうちに、子どもの表情や仕草、行動から、少しずつ気持ちや心がわかるようになってきました。

大学では、高校のときには経験できなかった学びがあります。座学だけでなく、実践的な場にも参加して学びを深めていくことができるので、とても楽しいですね。

## NEWS 沖縄県渡嘉敷島で救急救命コースの「救急救命特別実習」を実施しました!



2014年6月28日(土)～7月2日(水)、沖縄県渡嘉敷島にて、現代ビジネス学部現代マネジメント学科救急救命コースの救急救命特別実習を行いました。沖縄での開催は、昨年に引き続いて4回目となり、今回は同コース2回生の19名が参加しました。

南国の太陽が降り注ぐ青い海で、学生達は各種の入水泳法や、着衣状態での器材を

活用した救助方法など、実践的な訓練を受けました。水難救助実習の後は、宿泊先の国立沖縄青少年交流の家で講義を受講し、知識も修得する充実したスケジュールでした。

9月には、アメリカのロサンゼルスで最先端の救急医療体制に触れる海外実習も予定されています。実践的な学びを通して、救急救命士になるための意識を高めています。



# LOVE キャンパスライフ

## いろんな学びでたちばなのチカラUP!

京都橋では、在学生たちが学びや課外活動、ボランティアなど、自分が関心を持ったものについて、さまざまな活動を行い、知識や経験を深めています。ここでは、積極的な活動をしている在学生4人に、お話を聞きました。

### 卒業研究



大学4年間の集大成  
卒業研究に専心

吉井 惇 さん  
文学部歴史学科4回生

子どもの頃から日本史が好きで、歴史の舞台や史跡が多くある京都で学びたいという気持ちから、京都橋を選びました。大学に入ってから、文化財や歴史的建造物などを楽しく見て回ってきたのですが、1回生の「研究入門ゼミ」の授業で世界史のおもしろさに目覚めました。興味の対象が日本史から世界史へと広がり、さらに近代ヨーロッパの国際関係から始まり、近代トルコ史へと変わっていきました。卒業研究では、「近代日本における日本人のトルコ観」をテーマに、明治期にトルコに渡った日本人が、トルコをどう見ていたかを、当時の日本人の日記や外交文書から調べています。あまり研究されていない分野なので史料も少なく、収集が大変ですが、近代デジタルライブラリーなどを活用し、時代の移り変わりに伴う心象の変化について解説しています。

歴史の魅力は、わからないことが多いところです。資料などを読み解いて、推察していく楽しさがあります。知識を深めて広げていくには、自ら探求する姿勢が大切だと思います。



### ゼミ活動



セレクトショップ&カフェ  
「Re Stuart」の  
企画運営にチャレンジ!

セレクトショップ研究開発プロジェクト  
プロジェクトリーダー  
磯辺 美穂 さん  
現代ビジネス学部都市環境デザイン学科4回生

都市環境デザイン学科の木下達文ゼミでは、ゼミ生全員で共同研究を行っています。2年前から取り組んできたセレクトショップ&カフェが今秋9月13日(土)・14日(日)に期間限定でオープンする予定です。店内のレイアウトやディスプレイ、カフェで提供するメニューなどをすべて自分たちで考え、接客も行います。ショップで販売するものは、芸大生や作家さんが制作した絵画やアクセサリー、カトラリーなどの手づくり雑貨です。私たちの企画に賛同してくれる方を募り、出品協力をお願いしました。ショップに併設するカフェでは、お茶を楽しんでもらいながら、つくり手の作品に対する思いなどを紹介します。また、作家さんによるトークイベントなども開催し、一人でも多くの方に楽しんでもらいたいと思っています。

共同研究では、一からつくり上げていくことの大変さを経験できて、とてもいい勉強になりました。何度も話し合いを重ねていくうちに、それぞれが自分の担当していることに責任を持って進めていくようになりました。何としても成功させる!という気持ちでオープンまで頑張ります。



セレクトショップ&カフェ「Re Stuart」  
開催日時: 2014年9月13(土)・14日(日)  
10:00～16:00  
開催場所: アンテナカフェ丸太町  
(京都市上京区新町通丸太町上る春帯町349-1)

# 研究室探訪

とても優しい口調と雰囲気の阪本崇教授。ゼミではコンテンツ産業をテーマに取り上げていますが、実は、先生の専門は教育経済学や公共政策です。今回、ゼミ生の山西奈那さんが、先生の研究分野や今後の経済の動向などについてインタビューしました。



現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科  
阪本 崇 教授

現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科3回生  
山西 奈那さん

# Reborn 現代ビジネス学部 新しい経営学科が誕生します!!

経営学科5コース、都市環境デザイン学科2学系4コース

2015年4月、京都橋に経営学科が誕生します。しかし、ただの経営学を学ぶものではありません。将来を見据えた5つのコースを設置することにより、一人ひとりの目的や将来を明確化。1回生から、めざす業界や資格を想定したカリキュラムで、着実に学びを進めます。また、都市環境デザイン学科の学びも大きく変わります。



先生自身が、大学生の教育にあたって心にかけていることなどはありますか？  
「興味を持ってもらうこと」を一番に心がけています。身近な話題や意外な事実を提示して、少しでも関心をひけるように工夫をしています。常に試行錯誤の連続です。  
今後の日本経済はどうなるのでしょうか。  
総じて「お金が目がいきすぎ」だと私は思っています。今の日本経済は、経済成長が起って景気がよくなるという考え方で株価はかり気にしています。しかし、人はお金があるだけでは幸せにはなれません。人間にとって

なぜ先生は経済学を研究しようと思ったのですか？  
高校のときに社会学が一番好きだったので、なかでも経済がいろいろと動きがあってももしろいかなと思ったのが理由です。  
先生は公共政策が専門ということですが、それは、どのようなことを研究するのですか？  
財政学には租税論、経費論、予算論、公費論という4つの分野があります。私はそのなかの「経費論」を専門としています。経費論とは、お金の使い道について考えていくものです。公共政策のなかでも、教育や文化や芸術へのお金の配分の仕方などをテーマとしています。たとえば、スウェーデンやオーストラリアにおける奨学金の返済は、就職後、所得が一定の額に達しなければ始まりません。また、所得の額に応じて、一定割合で、長期にわたって少しずつ返済することがあります。日本では、短期間で返さなくてはならず負担感が大きいですね。平等な教育機会をつくるためにも、海外の制度を、日本でも取り入れたほうがいいのではないかと、このようなことを研究しています。

今の日本の教育についてどう思われますか？  
今の日本の学生は、アルバイトをすまざだと思えます。家庭の事情もあるとは思いますが、学費を全部稼いでいる学生もいて、授業や大学生活があるそかになつてしまっています。しかし、そのせいで本当の力を育てられない学生もいます。大学の学費の数百万のために、将来稼げるはずの数千円を失っていることもあると思います。ですから、もっと奨学金制度を充実させ、平等な教育機会をつくらなければなりません。同時に、歴史や地理に加えて、社会に出て役立つ経済や法律を学んだり、国語ではなく論議文を多く読み、数学でも現実への応用を理解させるなど、教育を社会生活と結びつけていくことも必要だと思っています。

本当に必要なものは何かを見きわめながら、経済を動かしていくことが大事です。たとえば、福祉なども今の日本の社会で不足しているものにとりやってお金を集めるのをしっかり考えなくてはなりません。現在、核家族化してはいる日本では、家族の介護などでも家庭の構成条件が崩れると、負担が重くなる構造になっています。生活が成り立ってこそ初めて経済はつまっていくので、もっと安心して生活できる社会を設計する必要があります。

今後はどのような研究をされる予定ですか？  
世の中にはお金が集まりにくい分野というものがあります。教育や医療や介護などの、人間がいけないと成立しない分野です。それはコスト削減ができないため、高止まりする傾向があります。そういう分野には、なかなか人はお金を使いたがらない。しかし、携帯電話ならば、年間約7万で70年使つと考えると、一生17×70=490万以上のお金を使うことになるのに、抵抗なく使います。大学や医療分野は、今後お金を流していかなければならないので、そうした部分にお金を適正配分するためにはどうしたらいいのか、ということについて研究していきたい予定です。

インタビュー  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科  
3回生  
山西 奈那さん  
ゼミではコンテンツ産業を学んでいるので、専門分野である財政学のことを真剣に話してください。先生の姿は新鮮でした。経済学というとすごく難しいイメージで学生からも敬遠されがちですが、社会のお金の仕組みがわかるおもしろい学問だと思います。財政学についての授業を受けてみたいと思いました。

個人的生活に直接的に役に立つというものではないかもしれませんが、ただし、たとえば自分の支払う税金がどこに使われているかなど、社会がどのように動いているのかということを理解し、大局的な視点を養うことができます。また、経済学を学んでいると、理屈で物事を考えることが多いので、論理的思考力が身につくと思います。



## 経営学科

企業、行政や警察・消防、病院など経営の最前線で活躍できる力をつける

**企業経営コース**  
企業経営の戦略や組織運営などのバラエティ豊かな科目を開講し、知識やスキル、マネジメント能力を育成します。

**金融コース**  
銀行や証券会社、保険会社等の金融機関へのキャリアをめざすコース。財政や金融の仕組みを理解し、会計やファイナンスの知識とセンスを身につけます。

**公共経営(公務員・消防・警察官)コース**  
地方自治体や警察・消防、NPOなど、営利を目的としない組織の運営について、経営学をベースに学ぶコース。公共サービスを実践的に学びます。

**医療経営(医療事務・診療情報管理士)コース**  
医療政策や病院経営など、医療機関に必要な能力と、専門知識を体系的に学びます。メディカルクラークや診療情報管理士資格の取得もめざします。

**グローバルビジネスコース**  
グローバル社会で、事業を広く展開する企業経営やビジネスを学ぶとともに、高度な英語力を修得。将来グローバル企業で活躍する人材を養成します。

## 都市環境デザイン学科

都市デザイン学系

建築、インテリア、観光、行政などで活躍するプロフェッショナルをめざす

**建築・インテリアコース**  
建築士やインテリアプランナーになるために必要な知識を身につけ、CADを使ったコンピュータによる設計など実践的技術も修得します。

**観光ビジネスコース**  
世界有数の観光地、京都を舞台に、観光資源の発掘や計画立案、開発方法を考えたり、観光についての幅広い知識とスキルを修得します。

**公共政策(公務員・消防・警察官)コース**  
一般行政やNPOなどの営利を目的としない組織体の運営や政策について学び、都市政策や観光政策、芸術文化政策などに強い公務員をめざします。

## 救急救命学系

生命を守るスペシャリスト、第一線で活躍する救急救命士を養成する

**救急救命コース**  
救急医療の現状や課題を理解し、基礎医学や救急医学、救急疾患に関する知識を修得。最新機器を使った実習と病院・施設実習により、実践力を身につけます。救急救命士国家試験合格率100%を達成!!(2013年度卒業生)

詳しくはWebサイト [Reborn現代ビジネス学部](#) [検索](#) をご覧ください。

## 看護学部開設10周年を迎えます

本学の看護学部は、2005年4月、関西でいち早く設置された看護系の学部・学科です。これまで輩出した卒業生は564名(1期生～6期生合計)で、京都の看護系学科のある私立大学においては最多。卒業生は、関西圏をはじめとした全国169の大学病院や国公立病院のほか、保健師や養護教諭として活躍しています。

また、新たな看護職者を養成するだけでなく、現職看護職者の生涯教育も積極的に展開。皮膚・排泄ケア分野の認定看護師教育課程に加え、卒業生対象のスキルズラボ研修、現場で役立つ看護研究支援研修といった看護キャリア開発事業を展開しています。また、2014年4月には、看護系大学院として関西の私立大学初の博士後期課程を設置しました。生涯にわたって看護の専門性と実践力を高めるための手厚いサポート体制を整えています。

看護学部開設10周年を迎えるにあたり、記念ロゴマークを作成しました。関西の私立大学でいち早く看護学部を開設し、積み上げてきた確かな実績を10周年の輪で表現しています。今後も看護学部は、関西の看護教育・研究の拠点として、歩み続けていきます。



看護学部スペシャルサイトをリニューアルしました！ひびきとくくの看護学部レポートも随時更新中です。ぜひ一度見てみてくださいね。

## 2014年度の橘祭の日程が決定！

第47回橘祭(大学祭)の日程が、2014年10月25日(土)・26日(日)に決まりました。テーマは「文明開“花”」。新しいことにチャレンジし、最高に楽しい橘祭にしようと、大学祭実行委員会の学生たちが一丸となって、準備を進めています。



各サークルの発表やステージ企画、フリーマーケット、模擬店、アーティストや若手芸人のライブなど楽しい企画が盛りだくさん。ぜひ皆さんお越しください。

※企画の詳細は、橘祭ホームページやパンフレット等でご確認ください。

## 4回目の東日本大震災復興支援ボランティアを実施

2014年8月25日(月)～29日(金)の5日間、4回目となる東日本大震災復興支援ボランティアを実施しました。今回、25人の学生が参加。宮城県東松島市を拠点に、現地の要望に基づいたさまざまな活動を行いました。

本学では、2012年9月から2014年2月までに、計3回の全学的な支援を継続的に行ってきました。これまで、岩手県釜石市や大槌町、遼野市において、がれき撤去作業や泥出し作業、被災者の方などが作物を育てる共同農園での草引き作業など、現地のニーズに合わせた活動に取り組んできました。去年は、宮城県松島市に拠点を移し、宅老所・ケアハウスでの交流活動や、小学校での授業補助などを行いました。

参加学生たちは、事前学習会でボランティアとしての心構えと準備をしてから出発。ボランティア期間中も毎晩ミーティングを行い、感じたことや考えたことなどについて議論を交わし、反省や改善点を次に活かしてボランティアに取り組んできました。参加後も、事後学習会と全学報告会を行うことで、ただボランティアに参加しただけではなく、その意味や意義までを考える企画となっています。

被災地に入って現地の状況を目で見ることで、そして、自らが働いて貢献すること、これらのことは学生にとって、何にも代えられない経験となります。被災地の状況を認識し、今後の支援のあり方を考えるとともに、大学をあげて被災地の復興支援を今後も継続して行っています。



## 文学部歴史遺産学科2回生が文化財防火研修に参加しました

2014年7月12日(土)、京都市山科区の毘沙門堂で行われた文化財防火研修に、本学文学部歴史遺産学科2回生の学生55名が参加しました。これは、文化財の価値をあらためて確認し、防火意識を高めてもらうために、山科消防署が京都市の「夏の文化財防火運動」に合わせて実施したものです。学生たちは、本堂から出火したとの想定で消火器の噴射を行ったり、重要文化財の運び出しなど実践的な訓練に取り組みました。火災が発生したときの備えや初期消火の大切さを学びました。

## 「公務員試験支援センター」を設置しました

2014年4月、難関の公務員採用試験を突破するため、「公務員試験支援センター」を設置しました。センターでは、試験対策講座やガイダンスを実施するほか、常駐している試験対策の専門スタッフが、学生の日常の学習・面接指導や、公務員を中心にさまざまな進路の個別相談に対応します。受講者を対象とした学習スペースを活用しながら、充実したサポートのもとで学習を進めることができます。また、これらの講座は正課の授業科目とも連動した内容になっているため、効率的です。

また、本学が主催し、学内で開講する講座なので、公務員予備校に通うよりも費用面が格安になる点もメリットです。

公務員試験アドバイザー  
伊吹 晋輔 さん

公務員志望者への対応のほか、教員や民間企業などの、さまざまな進路を志望する1回生を対象とした講座や相談も行っています。



## 今年もやります！「海外体験企画」

本学では、グローバル化する社会に対応できる学生を育成するため、2013年から、海外体験企画を開催しています。今年9月に実施予定の夏期海外体験企画では台湾・ベトナムを訪問します。

この企画は、日々刻々と変化する世界の現状を、実際に自分自身の目で見て、肌で感じ、真の国際感覚と国際理解を身につけることが目的です。そのため、プログラムの内容も個人旅行では経験できないことを柱として、現地の日系企業や文化施設の見学、現地の学生との交流などを行います。

例年、企画に参加した学生からは「海外の学生と接することで刺激になった」「視野が広がった」という声が上がっています。そのほか、今年はオーストラリアやニュージーランドでの海外インターンシップなども企画・実施します。



# ニュース&トピックス

## 京都橘の今を知る

### 地域に開かれた大学をめざし、地域連携センターを開設！

2014年4月に全学一体となって地域連携・社会貢献事業を推進する組織として、「地域連携推進機構」(機構長 細川涼一学長)を設立しました。また同時に、地域政策・社会連携推進センターを改組し、「地域連携センター」も新たに開設。このセンターは、地域社会や地方自治体・企業・NPO法人等と連携した取り組みを、より一層発展させる役割を担います。地球連携推進機構の統括のもとで、教職員や学生の地域・社会に関わる活動を促進し、学長をトップとした地域と教育・研究をつなぐ組織体制を確立しています。

昨年2013年9月の京都市山科区役所との地域連携・協力に関する協定締結以降、本学ではさまざまな取り組みを実施してきました。昨年度から、地域との連携・交流を促進する企画「橘セッション」を開始。2014年度は、大学の正課科目「地域課題研究」を開講し、京都市役所や山科区役所の職員を講師に招くなど、学生を巻き込んで地域の課題解決に取り組んでいます。さらに、協定後初の共同事業として、全6回の山科区民向けの教養講座「山科カレッジ」を開催。本学教員をはじめ、山科の文化や歴史に精通した講師のもと、講演会やフィールドワーク、体験学習などを実施します。山科区に居住する人を対象に、歴史と文化のある山科の魅力を再発見することで、地元への愛着や親しみを呼び起こし、よりよいまちづくりにつなげることを目的としています。そのほか、滋賀県下の自治体との連携も徐々に拡大しています。

今後も本学では、大学の知や研究成果を地域に還元し、地域を志向し、地域に開かれた大学をめざしていきます。



## ボランティア推進委員会



阪本 昌志 さん  
健康科学部  
理学療法学科3回生

### ボランティアへの一歩が踏み出せない人のお手伝いをしたい

ボランティア推進委員会の最近の取り組みは、福島県飯館村特産の「いいたて雪っ娘かぼちゃ」の栽培と、大学の近隣地域の清掃活動です。

このかぼちゃには、昨年8月の東日本大震災復興支援ボランティアで出会いました。福島第一原発の事故により、飯館村で育てられなくなったかぼちゃの種の保存を目的に、NPO法人が岩手県の農園で代理栽培していたものでした。僕たちも、福島県の現状を一人でも多くの学生に知ってもらおうと、大学でも栽培を始めました。ボランティア活動は、自分とは違う意見や考え方を知ることができるいい機会です。ぜひ一度参加し、いろんな人との出会いや経験をしてほしいです。僕もそのお手伝いができればと思っています。

## スポーツリハビリテーションサークル



天鷲 翔太さん  
健康科学部  
理学療法学科3回生

### 実践しながら学べるサークルです

スポーツリハビリテーションサークルでは、ストレッチポールを使った柔軟体操や関節の可動域の測定、データ分析、スポーツマッサージなどを行っています。スポーツマッサージは、女子バレーボール部と連携していて、専属トレーナーの方と顧問の横山先生の指導のもと、試合後に選手にマッサージを施す練習をさせてもらっています。また、選手が捻挫やケガをした場合の、選手の症状の確認方法や施術の方針の決め方、テーピングなどを直に見ることができ、とても勉強になります。将来理学療法士になるのに役立つことができ、たくさん学べます。興味のある人は一緒に活動しましょう。

# DO YOU KNOW クラブを極めれば大学がもっと楽しくなる CLUB & CIRCLE?

秋季リーグ戦も  
頑張ります!

## 弓道部

### 男女ともに一部リーグ昇格を めざしています!

弓道部は厳しい上下関係もなく、男女ともに仲よく楽しく活動しています。練習のときは集中し、日頃から緊張感を持って取り組んでいます。関西学生選手権では、本来の実力が発揮されたから優勝できたのだと思います。それは普段の練習の成果です。これから大きな大会が続くので、次につなげていきたいです。今年こそ、男女ともに一部リーグ昇格をめざし頑張ります。



田中 美奈さん  
人間発達学部  
児童教育学科3回生

### 弓道部女子団体Aチームが関西学生弓道選手権で優勝!



- 優勝メンバー(女子団体Aチーム)
- 田中 美奈 (人間発達学部児童教育学科3回生)
  - 浅野 里江 (人間発達学部英語コミュニケーション学科3回生)
  - 松山 絵未那 (現代ビジネス学部現代マネジメント学科1回生)

5月24日(土)・25日(日)にグリーンアリーナ神戸で開催された第58回関西学生弓道選手権大会で、弓道部女子団体が優勝しました。

悲願の優勝を  
達成!

## 女子バレーボール部

### 全日本インカレなどの大会で 優勝をめざします!

女子バレーボール部は、学生同士だけでなく、監督やコーチとも距離が近く、みんなで切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。常に心がけているのは、チームプレー。バレーは1人ではできないスポーツなので、仲間のプレーを引き立てることも楽しくできることを大切にしています。これからの目標は、全日本インカレなど大きな大会で結果を残すことです。今年は京都橘の年にしたいです。



宮城 奈菜子さん  
現代ビジネス学部  
都市環境デザイン学科  
4回生

### 女子バレーボール部が春季リーグ戦1部で初優勝!



4月13日(日)から開催されていた関西大学バレーボール連盟2014年度春季リーグ戦1部で、初優勝を飾りました。また、最優秀監督賞が本学の藤田幸光監督に贈られたほか、3選手が4つの個人賞を受賞しました。

- 最優秀選手賞 宮城 奈菜子 (都市環境デザイン学科4回生)
- ブロック賞 宮城 奈菜子 (都市環境デザイン学科4回生)
- セッター賞 日高 萌 (児童教育学科2回生)
- リベロ賞 松木 聡美 (児童教育学科2回生)

## エイサー同好会

2014年  
7月設立



金城 憂佳 さん  
文学部  
歴史学科2回生

### 立ち上げたばかりのエイサー同好会を一緒に盛り上げてください!

エイサーは、沖縄の伝統芸能で、盆踊りのようなものです。旧盆の最終日(旧暦の7月15日)に先祖の霊を送り出す太鼓や三線、歌などのお囃子に合わせて若者たちが踊りながら町を練り歩きます。現在では沖縄の夏の風物詩とし、エイサー大会が行われたりもします。エイサーの魅力は、何といても鳴り響く太鼓の音のなかでみんなで踊る一体感。その素晴らしさをたくさんの人に体験してもらいたくて、沖縄出身の友人と私が中心になって結成しました。初心者の人でもできるような踊りを考えているので安心してください。衣裳も自分たちでデザインし、手づくりしています。目標は、ボランティアとして地域で演舞することや各地のエイサー祭で伝承してきた踊りを披露することです。ぜひ一緒に踊りませんか。

## 防災サークル

2014年  
3月設立



大島 武士 さん  
現代ビジネス学部  
現代マネジメント学科  
2回生

### いざというときに役に立つ防災の知識を知ってほしい

防災サークルは、京都府からの設立依頼が京都橘大学に来たことによって、立ち上げることになりました。まずは僕たち自身が、防災に関する知識や技能を身につけ、災害時の対応ができるように研修会などに参加していく予定です。それから、学生ができる身近なこととして、大学での避難経路の確立と周知に取り組んでいきたいと考えています。災害が起きたとき、一人でも多くの方が安全に避難できるようにしたいです。防災サークルでは、みんなで防災や災害ボランティアについて考えていきたいと思っています。少しでも興味のある人は、ぜひ参加してください。自分自身の身を守り、周りの人を助けられる力をつけませんか?



### ツナとキャベツの梅和え

材料/1人分

- キャベツ…………… 大1枚
- ツナ缶(または鰹節パック1袋) 1/4缶
- 梅干し…………… 小1個

### 生協学生委員会☆OLIVEとは



大学生協は、食堂や売店の運営のほか、大学生や教職員のために必要な商品、サービスの提供を中心に行っている組合です。その大学生協に属しているのが生協学生委員会☆OLIVEです。OLIVEでは、充実したより良い大学生活が送れるように、学生ならではの目線でさまざまな企画を実施しています。たとえば、新歓企画「新たちはなさんいっしょい」や食生活応援企画、エコweekなど、さらなる進歩を求めて日々取り組んでいます。



### TB編集後記

実際につくってみました、とてもおいしく、しかも簡単にできました。ぜひ一人暮らしの方だけでなく、自宅生の方にもつくって食べてみてください。外食もいいですが、このような簡単レシピの料理で自炊をするのもおすすめです。

- 右から
- 小栗 美さん 文学部文化財学科4回生
- 藤井 丈夫さん 現代ビジネス学部現代マネジメント学科1回生
- 山岡 祐斗さん 人間発達学部児童教育学科1回生
- 石田 祐里さん 看護学部看護学科1回生
- 大山 朱音さん 文学部日本語日本文学科1回生
- 大西 彩加さん 人間発達学部児童教育学科3回生

コラボ企画

たちはなブログスタッフ × 生協学生委員会☆OLIVE

# たちはな's KITCHEN

皆さん、しっかり食事をしていますか？忙しいとついついおろそかになってしまいますよね。今回は、生協学生委員会☆OLIVEとたちはなブログスタッフが強力タッグを結成!! 「誰でも気軽につくれるごはん」を紹介します。



1 キャベツはザクザクと大きめに切ります。大きめのお皿にキャベツを入れ、ラップをかぶせレンジ(500W)で2分加熱します。

手を切らないように気をつけて!!



2 ラップをかぶせた後は箸などを使って数箇所蒸気を逃がす穴をあけます。(またはふんわりとラップをかぶせます)



3 梅干しは種を取り除いた後、包丁でトントンと叩いてつぶします。ツナ缶は油を切っておきます。



完成!

今回協力してくれた OLIVEの委員長 内田 周作さん(左端) 文学部歴史遺産学科2回生  
副委員長 關谷 将也さん(左から2番目) 現代ビジネス学部現代マネジメント学科2回生

土鍋ごはんができましたv



2 マグカップの底に味噌を入れ、切った材料をその上に乗せます。



3 マグカップに水を入れ、レンジ(500w)で2分間待つだけ!

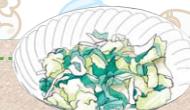


### 水菜と油揚げの味噌汁

- 材料/1人分
- 味噌…………… 小さじ2
- 油揚げ…………… 1/8枚
- 水…………… 3/4カップ
- 水菜…………… 1/4束
- 鰹節パック 1/4袋



1 油揚げを切ります。買ったときに刻んで小分けにして、冷凍しておくとも便利です。



ご飯が進んで仕方ない一品!!

### 卵とエリンギ、ニラの塩炒め

- 材料/1人分
- エリンギ…大きいものを1本
- 卵…………… 2個
- ニラ…………… 1/2束
- 塩コショウ 適量
- サラダ油 小さじ1杯
- ごま油…………… 小さじ1/2杯



1 まずは野菜を洗ひましょう!



2 卵を割り、塩コショウを入れたら溶いておきます。



3 エリンギは薄切りにして火を通しやすくして、ニラは5cmの長さにカットしておきます。

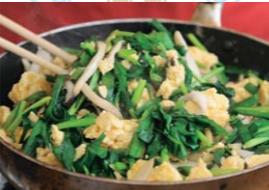


半熟になったら一度火からおろす!

4 溶き卵をフライパンに入れ、箸で半熟になるまでかき混ぜます。半熟になったら一度火からおろして、元の入れ物に戻します(重要!)



5 同じフライパンでエリンギを炒める。野菜に火が通ったら卵を投入! ニラをフライパンに入れ塩コショウで味を整えます。



6 最後にごま油を垂らして完成!



7 キャベツがしんなりしたら、梅干しとツナを加えてよく混ぜ合わせたらでき上がり!



photo : Ai Hirano